

# 踏み跡 <My Mountains>

奥鬼怒	日光沢温泉から鬼怒沼と刈込湖・切込湖	No.257
-----	--------------------	--------

会津や越後の山を攻めていると、双方の接点になっている奥鬼怒の山が目についてどうしても離れない。  
 積年の懸案事項となっていた鬼怒沼。  
 とにかく奥鬼怒の温泉に泊って鬼怒沼へ行ってみようかという荒いプランだけで、宿の手配もせずに出発。  
 かみさんと二人だけなので何とかなるだろうと……。



平成7年8月28日  
 3時15分起床、天気は曇

り。朝食もとらずに4時に出発。国道16号線を岩槻まで行き、東北自動車道へ。  
 久喜SAで朝食をとり、宇都宮・今市経由で鬼怒川・川治・川俣と抜けて女夫湫温泉へ。  
 車は置いて、ここからは歩きになる。歩き始める前にまずは今宵の宿探しとして電話をしまくり、日光沢温泉を確保。電話の向こうでは雨だと。  
 女夫湫温泉を出発してしばらくすると小雨が降り始めたが、傘をさして歩くことができる程度の雨。  
 日光沢温泉で昼食を食べた後、鬼怒沼往復に出発。登り2時間・下り1時間とのこと。  
 歩き始めてしばらくはさほど起伏のない沢沿いの道だったが、右手の小尾根に取り付いてからは急に高度をかせぐようになり、海拔1800m地点までかなりハードな登り。1800mを越えると傾斜は緩やかになり、海拔2000m地点でほぼ平坦になり、池塘が現れ始めた。これが鬼怒沼だ！と気分が高揚してくる。  
 鬼怒沼湿原に到着してひといきついたら、それまでの霧雨とガスがスカッと切れて晴れ上がってきた。日光方面の山並みを楽しみながら湿原の散策。(下写真：海拔2000m雲上の樂園・右奥に日光連山が)



ここまで来たなら鬼怒沼山の頂上を踏まざるには帰れない……、かみさんを残して一人で頂上探しに出発。  
 鬼怒沼湿原の北端から東へゆくり登りながら北に進路を変えていく。2141m峰の東側を巻き、三角点がある2140.8m峰を目指したが、登山路はピークを巻いて通っているしピークに向かう道が見つけれず。  
 三角点があるピークの直下まで駒を進めたのに残念ながら時間切れ。  
 かみさんが待機する場所に戻って15時40分下山開始。  
 日光沢温泉着17時10分。山の温泉の夜は楽しい。入浴→夕食→食後の休憩→露天風呂で星を見ながら再入浴→そして21時に就寝。リッチな気分になることができるひとときである。(一泊二食付き7,500円/人)  
 明日は車で山王峠まで入って刈込湖と切込湖へ行くことに決定。

## 踏 み 跡 <My Mountains>

平成7年8月29日

5時半起床、曇っていたが徐々に晴れてきた。優雅に朝食前に付近を散歩、6時半朝食、7時半出発。出発する頃には快晴になってきた。植物の写真を撮ったり、旨そうな水を見つけて味見のあと土産用にタンクに詰めたりとゆったりした気分で下山。

女夫湯温泉から車。川俣温泉から南へ山王林道に入って光徳方面に向かう。悪路ではあるが車の底をこすらない程度に走ることはできる。

山王峠 10時半、天気は快晴で気分良好。車を止めて、食事と水とカメラをザックに入れてすぐに出発。

峠の北側はすぐ眼下に涸沼、目の前には於呂俱羅山（おろぐらやま）。涸沼に水があった頃のことを想像してみると・・・何と素晴らしい景色だったろうことか。湿原や沼が長い年月の間に姿を変えていく状況が感じられる。カメラをぶら下げてあっちへうろうろ、こっちへうろうろしながら歩いて刈込湖に11時50分到着。（写真左：とにかく静かでゴミがない刈込湖）



大事に持ってきた缶ビール付の昼食。昼食の後はビールの応援を借りてしばらく昼寝。刈込湖・切込湖ともにゴミはないし人工的なものはなにもなく静かで素晴らしい。沼の北岸には無数の鹿の足跡。やはり人の出入りを拒む不便さは大事だ。

13時15分出発。山王峠に戻って車で光徳牧場・戦場ヶ原・湯元と散歩をしながら帰路についた。車のエアコンが故障してしまったため涼しくなってから下界に降りるように、そこかしこで時間をつぶしながら・・・。途中いろは坂で美味しそうな水が流れて

いたのでタンクに20ℓ詰めて土産にし、家に帰ってすぐにウイスキーの水割りを楽しんだ。

以上